

KOSEN の窓

「デザコン」とは、全国高等専門学校デザインコンペティションのこと
で、ロボコンの建築・土木バーションというところ
かりやすいかもしれませ
ん。

2004年から全国大会が正式に始まって、今年で15回目の開催となります。主に建築・土木系を学んでいる学生が中心に参加していますが、近年、競技の幅が広がって、他の専門分野の学生も参加しています。
競技部門は複数ありますが、有明高専では、建

築学科・コースの学生が主に構造デザイン部門と空間デザイン部門に参加しています。16年度の大
会では空間デザイン部門で当時専攻科1年生の牛島美夏さんが最優秀賞に輝き、KOSENの窓⑩

（17年3月27日掲載）で記事になっているので（な
今年構造デザイン部

高専デザコン・軽く て強い橋をつくる！

③1

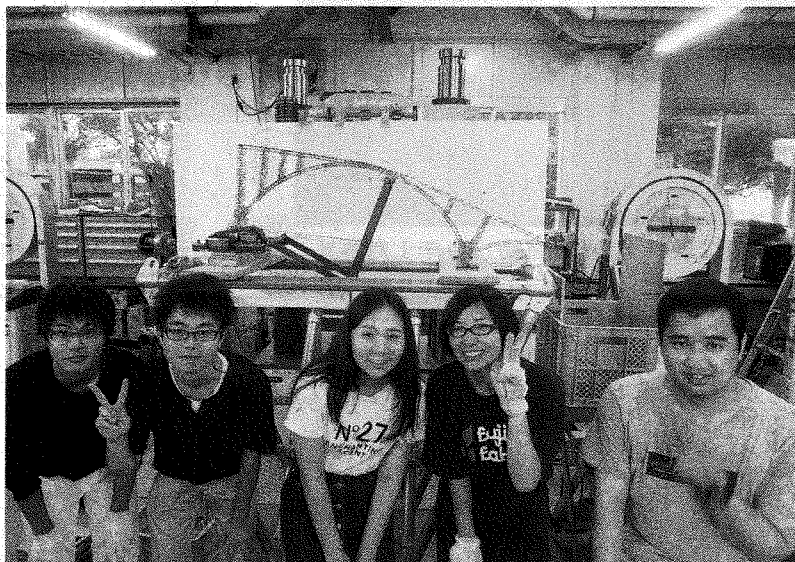
有明高専創造工学科教授

岩下 勉

んと、17年度の大会でも牛島さんは審査員特別賞を獲得！、今回は構造デザイン部門について紹介させていただきます。
開催される年によってテーマは異なりますが、構造デザイン部門では、「強く、美しく、軽い」構造物をつくるのが基

本となる競技で、学生がチームで課題に取り組みます。ここ数年は、銅線とハンダを用いて橋を作り、その橋の強度、重量、デザイン性が評価され、競技が行われています。もちろん、橋なので「強さ」はもつとも重要です。今年の構造デザイン部

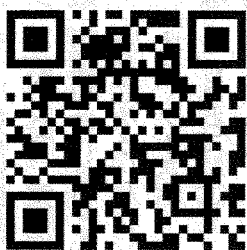
位が決まります。審査員の予想をはるかに上回る軽量の橋が出てくることもあり、驚かされることも。そのたびに、各高専のレベルも上がっています。この競技の面白いところは、学生たちが考え設計した橋を、自分たちで制作し、自分たちで実験を行い、破壊した状況を観察して、自分たちで改良していくことにある。



全国大会に出場する学生たち

たつては、学年を超えたチーム編成（主に3〜5年生）にすることで、縦のつながりを生み、学生同士の切磋琢磨がより促されていると感じています。

今年の全国大会は11月10、11日に北海道釧路市観光国際交流センターで実施されます。学生たちの活躍にご期待ください。



有明高専

デザコンwebサイトへ